



2023年12月26日号
冬季号

vol. 68

健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所: 一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者: 広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <https://www.j-flooring.jp/>

フローリング張り標準仕様書講習会を開催

令和5年9月4日(月) 新木場木材会館(東京)



＝会長挨拶時の様子＝

令和2年版のフローリング張り標準仕様書については、コロナ禍により講習会を開催できずにはいりましたが、本年、技術委員会(仕様書改正委員会)が中心となって内容を企画し、関東甲信越支部が実行部隊となっていていただき、(一社)フローリング協会の協賛、(一社)全国フローリング技能協会の協力を得て、9月4日(月)に木材会館(東京都江東区新木場)にて、全国から100人以上の受講者があり、盛会にて開催することができました。

第1部として佐藤技術委員長(佐藤工業常務)から主として仕様書の変更点の概要説明がありました。第2部として、接着剤メーカー(コニシ株式会社)、二重床メーカー(株式会社桐井製作所)、鋼製床下地材メーカー(三洋工業株式会社)から最新の各種情報提供をいただき、活発な質疑があるなど、全体として好評をいただき終了することができました。

〔講習会の出席状況〕

受講者	105名
講師・スタッフ等	20名
会場内人数計	125名

1. 開会
2. (一社)日本フローリング工業会 会長あいさつ
3. 講習会
 - 第一部: フローリング張り標準仕様書の説明
 - 第二部: フローリング張りに関する情報提供
 - ・接着剤メーカーからの情報提供
 - ・二重床メーカーからの情報提供
 - ・鋼製床下地材メーカーからの情報提供
4. 閉会

次
第

中央省庁要請活動を実施

令和5年7月25日（火）

工業会は、中央省庁の翌年度予算案の財務省提出（例年9月1日）に向け、例年7月に木質フローリング振興施策の充実・強化を図っていただくよう、正副会長等が林野庁、国土交通省の関係部署に要請活動を実施してきています。今年は7月25日に要請活動を実施しました。

林野庁においては、田伏会長が、工業会会員が国産材活用に努力してきたとした上で、良質で機能的な木質フローリングの開発・製造、安定供給対策を推進し、施工面では管理体制の充実を図り、「木材の良さ」を消費者に理解していただく努力していると説明し、フローリングの振興が木材利用に役立っていることに理解を求めました。林野庁からは、木材の安定供給のための施策、木材の利用促進のための施策を強化していく考えであり、フローリングの振興も念頭に置いていきたいとの返答がありました。



＝石田林野庁木材産業課長に要請書を手渡す正副会長＝

また、国土交通省では、大臣官房営繕部建築技術調整室、住宅局木造住宅振興室を訪れ、公共建築工事標準仕様書改定の検討あるときは工業会の意見を聴いていただきたいこと、地域型住宅グリーン化事業や大工技能者の確保・育成事業等の木造住宅施策の拡充をお願いし、国土交通省からは要請の趣旨は理解したとした上で、今後も公共建築物、木質住宅等の品質確保に向けた協力要請がありました。



施工流通部会総会が福岡にて開催される

令和5年10月17日（火）

令和5年度の施工流通部会総会は、10月17日に福岡市で開催され、37名が参加して、会員間の情報交換、交流を行うことができました。総会では、外瀬部会長から「本日、無事に総会を開催でき九州支部には感謝申し上げます。今後とも会員紹介など活動を継続していきたい」と挨拶があり、委員会報告や前年度決算などが了承されました。講演会には、元プロ野球選手の江尻慎太郎氏を講師にお招きしてプロ野球界の興味深い話を多く聴くことができ、質疑も活発に行われました。

（日程）

令和5年10月17日（火）

（内容）

- ・ 施工流通部会総会
- ・ 講演会：講師は元プロ野球選手の江尻慎太郎氏
- ・ 懇親会

（会場）

西鉄グランドホテル：福岡市中央区大名 2-6-60



＝講演会の様子＝

7月理事会

12月理事会

林野庁から 改正クリーンウッド法に関する情報提供 (令和5年7月25日)

7月25日に林友ビル（東京都文京区）にて、リモート参加も可能とした理事会を開催しました。合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（通称：クリーンウッド法）が令和5年4月に改正され、2年後の施行を予定していることを踏まえ、林野庁木材利用課の齋藤綾課長補佐をお招きし、改正クリーンウッド法の概要等についてお話をいただきました。特に、輸入木材については輸入事業者が合法性の確認等を行う義務化について関心が寄せられ、活発な意見交換がありましたが、「具体化はこれから」との林野庁の返答を受け、今後とも情報提供をお願いしました。

このほか、工業会の今後の予算関係に関する日本複合・防音床材工業会の状況、フローリング張り標準仕様書の講習会開催予定、施工流通部会総会などについて説明があり了承されました。また、次回の12月理事会を大阪市で開催することを田伏会長が提唱し、了承されました。

初めての試みとして大阪市にて開催

(令和5年12月5日)

12月5日に大阪市（TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋：大阪市中心部南船場）にてリモート参加も可能とした理事会を開催しました。リアル参加は18名、リモート参加は4名でした。

冒頭、会長から、「理事会については、3月理事会は総会日であるため、7月理事会は中央省庁要請活動があるため、東京で開催せざるを得ない。12月理事会にはこのような制約がないので、関西メンバーとの交流を図るため大阪市で開催してみた。開催にご尽力いただいた近畿・中国・四国支部には感謝申し上げる。来年以降も執行部の意見を聞きながら東京以外での開催も検討したい。」と挨拶がありました。

議事の内容は、フローリング張り標準仕様書講習会の開催状況、部会からの活動状況の報告、令和6年度通常総会開催の日時・場所、令和5年度の決算見込・令和6年度の予算案についての説明などが審議され了承されました。

また、理事会後は関西フローリング協会と共同で24名が参加した懇親会が開催され、関西のフローリング関係者との広範な交流を図ることができました。

新規入会会員の紹介

(令和5年7月25日の理事会承認)

旭商事株式会社の入会（正会員）が、令和5年7月理事会にて承認されました。



住 所：	岐阜県岐阜市西河渡2丁目11番地		
代 表 者：	代表取締役 吉田 尚人		
設 立：	平成9年（1997年）10月	所属部会：	施工流通部会
業務内容：	無垢フローリングを中心とした住宅建材の輸入販売	所属支部：	中部支部

生産部会は部会長が交代しリモートで打ち合わせを実施

令和5年11月7日（火）

5月末にて空席となっていた生産部会長は、7月に江戸川木材工業株式会社、江戸川ウッドテック株式会社の市川大介社長が選任されました。

年度途中の部会長交代となったため、令和5年度の実産部会総会は開催を見送り、代わりに11月7日にリモートによる生産部会員による打ち合わせを実施し、令和4年度の決算報告と最近の各地の情報交換を行いました。令和6年度に向けては、市川新部会長の下、生産部会総会を実施する方向で検討していくこととなりました。

関東甲信越だより

森 隆之 関東甲信越支部（三勇床工事株式会社）

関東甲信越支部長を仰せつかっております森と申します。前任のマルコー(株)田伏社長(現工業会会長)からバトンを引き継ぎました。前職では施工流通部会長を4期8年務めさせて頂き、各支部の皆様に支えられながら任期を終えることが出来ました。会員の皆様には多大な感謝を申し上げますとともに、業界の更なる発展の為、支部長という任を務めて行きたいと思っております。

さて、新型コロナウイルスは5類感染症に位置付けられ、行動に幅が戻って参りました。ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナ紛争、大幅な円安等、私たちの業界では大きな影響を受け続けています。物価の上昇はやや治まってきましたが、各業種大きな痛手を受けました。現在では上昇分の価格転嫁は出来てきて、今後は安定した商売ができ始めるといきや、2024年問題、労働者不足と問題はまだまだ残っている。そんな今現在であります。

関東甲信越支部では、2023年9月4日にフローリング張り標準仕様書講習会を開催致しました。今回の講習会は東京開催のみということで、他支部のご協力を得て、受講者数も100名を超え、各県から多くの参加頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。フローリング張り標準仕様書を通じ、施工の安定性や技術の向上につながれば尚良いと思います。

思い起こせばこの3年間、新型コロナウイルスの影響で、支部会も開けず、業者間のコミュニケーションが不足し、思いが伝わらないことが多くありました。今後は出来るだけリアルな対話をこころがけ、有益な情報を共有し、各会員の業績の発展につながればと思うところです。



ひとこと

森 隆之 関東甲信越支部（三勇床工事株式会社）

何年か前のフローリングニースのひとことに、協栄木材の中川会長のお話がありました※。湿式フローリングブロックの工法があったことは覚えていて欲しいと。

私はこの業界に携わり30年になります。入社当時の私の主な仕事は材料搬入でした。当時は今のように荷揚げ屋(揚重を担当する業者)が少なく、自社で荷揚げをしていました。しばらくすると材料搬入は専門の業者に任せるようになってきました。

この業界の先輩たちは、殆どの方が荷揚げをしてきたことと思います。

湿式フローリングブロックに関しては、背中に背負い、作業着を汚しながら運んでいました。洗濯をする嫁に毎回文句を言われていたのを思い出します。

湿式フローリングブロックは、今では殆ど使われなくなりました。湿式から乾式に代わり、乾式フローリングブロックも限られた地域でしか使われなくなってきました。

一時代を築いたフローリングブロックが無くなってしまふのは寂しいですが、また新しいフローリングが一時代を築いていくのだと思います。

文化の継承。これからこの業界を受け継ぐ方々に、私も出来る限りフローリングの歴史を伝えて行きたいと思ひます。

※vol.56(2017年冬季号:編集員注)

●広報法務委員

委員長 石本 勝範
委員 佐藤 仁明 委員 矢野 伸和
委員 清見 謙造 委員 當倉 弘造

●会員動向 令和5年12月1日時点

正会員 46社
賛助会員 17社
合計 63社

●告知板

3月7日(木) ...令和6年度通常総会(東京)



編集後記

令和5年は、業界としては、住宅着工数の減、円安、資材不足と価格上昇、職人不足と厳しさが増す一方ですが、工業会活動としては、総会、標準仕様書講習会、部会総会などをまずまずの盛況で開催でき、会員の情報交換等を深めることはできました。

ところで、編集員は11月下旬にインフルエンザにかかり、熱が下がってからも大腸炎を併発し、3週間も事務局に出勤できず、皆様にはご迷惑をおかけしました。会員の皆様におかれましては、お身体にお気を付けて年末年始をお過ごしください。

